

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-28	高等学校	商業科	管理会計	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
234TAC	商業748	管理会計		

1. 編修の基本方針

- (1) 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、管理会計の基礎で全体像を学習したあとに、利益管理と原価管理を学習し、それにもとづいて予算編成・予算統制までを学習できるように配置した。続いて、各種の経営意思決定、業績測定について学習し、最後に新しい原価管理の方法を学習するように編や章を設定・配置した。また、各章冒頭にその章で学習する内容をカラーイラストと短文で記載し、より深い理解を得られるようにした。(第1号)
- また、そのイラストにおいては、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるという観点から、男女の社員が協力し合いながら業務を進めている様子を示した。(第3号)
- (2) 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、管理会計をとりまく場面や、お金の流れについて、より深い理解が得られるよう、解説部分にカラーイラストや図解を取り入れるとともに、計算手法としての様々な図解を取り入れ、理解しながら管理会計を学習できるようにした。(第1号、第2号)
- (3) 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、基本的な用語について英語表記を行っている。(第5号)
- (4) 自主及び自律の精神を養うという観点から、例題を中心に、章末の取引まとめ、ミニテストまでの内容をつなげ、主体的に学習が進められるよう配慮した。(第2号)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、「管理会計の全体像」として、これから学習する範囲について、図解で示した。(第1号)	口絵1～2ページ
	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、企業の組織構造について、図解にして示した。(第2号)	口絵3ページ
	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するという観点と、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、戦略的原価計算について、現場の写真を使いながら、全体像を示した。(第1号、第2号、第5号)	口絵5～6ページ
学習のまえに	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養	ま え づ け 《2》ページ

	うという観点から、管理会計の学習を通じて、未来のために貢献する必要性、その一助として活躍することに対する意義と期待について記述した。(第3号)	
	自主及び自律の精神を養うという観点から、本書の構成を示すことで、主体的な学習ができるよう、配慮した。(第2号)	ま え づ け 《2》《3》 ページ
第1編 管理会計と経営管理 第1章 管理会計の目的 第2章 管理会計と原価計算 第3章 管理会計に有用な原価情報	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、管理会計と財務会計の違い、管理会計と原価計算の関係、管理会計に有用な原価情報について図解や表を交えて記述した。(第1号)	2~12ページ
	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、企業における経営管理の重要性について記述した。(第2号)	4ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	5、8、12ページ
第2編 短期利益計画 第4章 原価予測の方法 第5章 CVP 分析と感度分析 第6章 利益の最大化	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、原価予測の方法と利益予測の方法について理解を深めるため、例題と図解で示した。(第1号)	14~39ページ
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、自主及び自律の精神を養うという観点から、例題に逐一計算式や図解をいれることで、自学にも適した内容とした。(第1号、第2号)	14~50ページ
	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点と、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するという観点から、利益の最大化の解説の冒頭には、製造業の伝統に配慮し、ロボットやドローンのイラストを加え、イメージをよりしやすくした。(第2号、第5号)	40ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	22、38~39、 49、50ページ
第3編 コスト・マネジメント 第7章 標準原価計算 第8章 直接標準原価計算	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から仕損、減損が発生する場合の標準原価計算について、図解やイラスト、例題を使用し、補足説明を側注の吹き出しに掲載することで、学習者のスムーズな理解につながるよう、心がけた。(第1号)	52~74ページ
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、自主及び自律の精神を養うという観点から、標準原価計算の差異分析、勘定記入において手順や流れがわかりやすいように図解で示した。(第1号)	52~74ページ

	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、自主及び自律の精神を養うという観点から、直接標準原価計算の差異分析や損益計算書の作成において手順や流れがわかりやすいように図解で示した。(第1号)	79～97ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	75～78、98～102ページ
第4編 予算編成と予算統制 第9章 企業予算の編成 第10章 予算統制	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、企業予算の意義と種類について記述した。(第1号)	104、105ページ
	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、企業予算の作成方法について、実務に即して記述した。(第2号)	106～116ページ
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、予算統制の流れと手法について、記述した。(第1号、第2号)	119～137ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	117～118、138～140ページ
第5編 経営意思決定 第11章 経営意思決定の概要 第12章 業務的意思決定 第13章 構造的意意思決定	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、経営意思決定の概要やプロセス、経営意思決定において用いる原価概念について、実務に即して記述した。(第2号)	142～146ページ
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、業務的意思決定と、構造的意意思決定における各種計算手法について、例題を通じて、手順や流れをわかりやすく記述するとともに、自主及び自律の精神を養うという観点から、逐一計算式や図解をいれることで、自学にも適した内容とした。(第1号、第2号)	148～155、158～174ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	147、156～157、175～178ページ
第6編 業績測定 第14章 企業の組織構造 第15章 業績測定の方法	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、企業の組織構造について、実務に即して記述した。(第2号)	180～181ページ
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、業績測定の意義と計算手法について、実務に即して記述し	183～192ページ

	た。(第1号、第2号)	
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	182、192ページ
第7編 コスト・マネジメント (その2) 第16章 目標原価計算 第17章 活動基準原価計算 第18章 品質原価計算	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、製造原価における原価管理手法の変遷について図解をまじえて記述した。(第2号)	194～195ページ
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、目標原価計算、活動基準原価計算、品質原価計算について、例題やイラスト、図解を交えながら記述した(第1号、第2号)	196～203、 205～215、 217～223ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	204、216、 224ページ
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、補足事項を側注の吹き出しに掲載し、多角的に理解できるようにした。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんだ我が国と郷土を愛する態度を養うという観点から、各編の色づかいにつき、日本の伝統色に配慮して選択するとともに、学習内容に応じた色選択をした。 ・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から選択した印刷用紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。 		

- (備考)
- 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
 - 2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定合格後に提出する際に記入する。
 - 3 「編修の基本方針」欄には、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために編修の基本方針とした点を記入する。
 - 4 「対照表」欄には、図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について記入する。詳細は次のとおりとする。
 - ① 「特に意を用いた点や特色」欄には、教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、図書の構成や内容において編修上特に意を用いた点や特色について記入する。その際、教育基本法第2条各号のうち、特に関連が深いものを文末に示す。(例：第〇号)
 - ② 「該当箇所」欄には、上記内容に対応する具体的な箇所が分かるように、主な該当箇所のページ(例：〇ページ)を記入する。
 - ③ 必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
 - 5 「上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色」欄には、上記の記載事項以外に、教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標、学校教育法第51条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修上特に意を用いた点や特色などがあれば記入する。
 - 6 「編修の基本方針」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
 - 7 別紙様式第5-1号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-28	高等学校	商業科	管理会計	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
234TAC	商業748	管理会計		

1. 編修上特に意を用いた点や特色
<p>実社会における企業で何が行われているのを把握し、経営管理に有用な適切な会計情報を提供し、効果的に活用する力を養成するという観点から、以下のような工夫を施して編修している。</p> <p>○第1編「管理会計と経営管理」で全体像を学習したあとに、第2編と第3編で利益管理と原価管理を学習し、第4編で予算編成・予算統制、第5編で各種の経営意思決定、第6編で業績測定、最後に第7編で新しい原価管理の方法を学習するようにした。</p> <p>○各章の冒頭では、これから何を学習するのかという導入部分につき、2コマイラストと文章で解説を加えた。その際、すでに学習した内容との関わりもあわせて解説することで、その都度知識の整理がはかれるようにした。</p> <p>○数字の流れや全体像を追いながら学習できるように、適宜、手順化し、図解を多用した。</p> <p>○帳簿や財務諸表類を解説する際には、図解化するとともに、金額の流れについて矢印などで、学習者が容易に理解できるようにした。</p> <p>○間違いやすい箇所や重要なポイントについては、側注の吹き出しや囲み記事により、別角度からの解説を加えた。また、書籍内であわせて読むと理解が深まる箇所については、当該箇所を明示することで学習に役立てられるようにした。</p> <p>○例題を中心に、章末のまとめ、ミニテスト、巻末の総合的な記帳問題までの内容をつなげ、これらを利用して反復的に学習することで、学習内容の定着が図れるようにした。</p> <p>○冒頭や巻末の口絵には、管理会計で学習する内容の全体像や、戦略的原価計算のイメージ図を掲載し、学習内容についてイメージしやすいようにしている。</p>
2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 管理会計と経営管理	(1) 管理会計と経営 管理 ア 管理会計の目的 イ 管理会計と原価 計算との関係	ページ	3
第1章 管理会計の目的			
第2章 管理会計と原価計算			
第3章 管理会計に有用な原価情報			3
第2編 短期利益計画	(2) 短期利益計画 ア 原価予測の方法 イ 損益分岐分析と 感度分析 ウ 利益の最大化	ページ	5
第4章 原価予測の方法			
第5章 CVP 分析と感度分析			
第6章 利益の最大化			
第3編 コスト・マネジメント			

第7章 標準原価計算	(5) コスト・マネジメント		10
第8章 直接標準原価計算	ア 標準原価計算 イ 直接標準原価計算		10
第4編 予算編成と予算統制	(4) 予算編成と予算統制		9
第9章 企業予算の編成	ア 企業予算の編成		9
第10章 予算統制	イ 予算統制の方法		9
第5編 経営意思決定	(6) 経営意思決定		2
第11章 経営意思決定の概要	ア 経営意思決定の概要		5
第12章 業務的意思決定	イ 業務的意思決定		10
第13章 構造的意決定	ウ 構造的意決定		10
第6編 業績測定	(3) 業績測定		5
第14章 企業の組織構造	ア 企業の組織構造		5
第15章 業績測定の方法	イ 業績測定の方法		5
第7編 コスト・マネジメント (その2)	(5) コスト・マネジメント		7
第16章 目標原価計算	ウ 目標原価計算		7
第17章 活動基準原価計算	エ 活動基準原価計算		2
第18章 品質原価計算	オ 品質原価計算		2
合計			105

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
3 「編修上特に意を用いた点や特色」欄には、学習指導要領の総則や当該教科の目標を達成するため、編修上特に意を用いた点や特色を記入する。
4 「対照表」欄には、図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」の各事項との対照について、「内容の取扱い」も踏まえて記入する。その際、「該当箇所」欄に、申請図書の該当箇所のページ（例：〇～〇ページ）を記入する。また、必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
5 「配当時数」欄には、申請図書で予定している配当授業時数を示すこと。なお、配当授業時数の記載が必要な教科、種目については空欄でよい。
6 「編修上特に意を用いた点や特色」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
7 別紙様式第5-2号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-28	高等学校	商業科	管理会計	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
234TAC	商業748	管理会計		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
92頁～93 頁	第8章 4 直接標準原価計算の固定費 調整	1	「管理会計」 (5) コストマネジメント イ 直接標準原価計算	2
合 計				2

- (備考) 1 ※受理番号欄には、申請図書番号を記入する。
- 2 その他の※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
「ページ」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述の掲載ページを示す。
- 3 「記述」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述に付された表題等を示す。
- 4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
 - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2
- 5 「関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項」欄には、当該学年等の学習指導要領の内容や内容の取扱いに示すどの事項と関連があるのか分かるように記入する。
- 6 「ページ数」欄には、発展的な学習内容の記述が掲載されているページ数を記入する。ページの数え方は以下のとおりとする。「合計」欄には発展的な学習内容の記述の合計ページ数を記入する。
- ・ 0. 25ページ以下… 0. 25ページ
 - ・ 0. 25ページを超えて0. 5ページ以下… 0. 5ページ
 - ・ 0. 5ページを超えて0. 75ページ以下… 0. 75ページ
 - ・ 0. 75ページを超えて1ページ以下… 1ページ
- 7 別紙様式第5-3号の分量は2ページ以内とする。